

# Ex43 (2023/05/26)

- 0 から 9 までの数字を無作為にいくつか打ち込んで、各数字の入力回数をカウントし、出力するプログラムを作成せよ。このとき、以下の構文を用いよ。

```
while((ch = getchar()) != EOF){...}
```

実行結果例

```
Input numbers.
```

```
3.1415926535 8979323846 2643383279 5028841971 6939937510
```

```
Frequency of each number:
```

```
'0' : 2
```

```
'1' : 5
```

```
'2' : 5
```

```
'3' : 9
```

```
'4' : 4
```

```
'5' : 5
```

```
'6' : 4
```

```
'7' : 4
```

```
'8' : 5
```

```
'9' : 8
```

# Ex44 (2023/05/26)

- 6つの整数データ{34, 45, 56, 67, 78, 40}からなるテキストファイルを他のソフト（テキストエディターなど）で作り、そのファイルを読み込んで各要素を2倍にして、異なる名前のファイルとして出力するプログラムを作成せよ

元のテキストファイル

34
45
56
67
78
40

新しくできたテキストファイル

68
90
112
134
156
80

# Ex45 (2023/05/26)

- 以下の表のテキストデータファイル（名前，身長，体重）を他のソフト（テキストエディターなど）を使って作成し(tab区切りテキストファイル)、そのファイルを読み込んで身長と体重の平均値を出力するプログラムを作成せよ

データ

Sato	171	65
Suzuki	165	71
Watanabe	180	77
Ito	162	60
Tanaka	158	62
Takahashi	173	61

実行結果例

File was open.		
Sato	171.00	65.00
Suzuki	165.00	71.00
Watanabe	180.00	77.00
Ito	162.00	60.00
Tanaka	158.00	62.00
Takahashi	173.00	61.00
Ave.	168.17	66.00
File was closed.		

# 課題の提出

- T2SCHOLAで課題番号ごとに以下のファイルを提出.
- Cのソースコードファイル. 関数定義が複数あっても, 一つの課題番号に対して一つのファイルとする.
- ファイル名:
  - 「<学籍番号>\_prog<講義日の日付>\_ex<課題番号>\_v1<バージョン, 最後のみ採用>.c」
  - 講義日の日付は4桁、課題番号は2桁
  - 例: 20B01234\_prog0416\_ex01\_v1.c
  - ~.c.c とはしない

# 課題の提出

- T2SCHOLAからの提出がうまくいかない場合は、  
上記ファイルの内容を担当教員にメールで提出
- 課題の提出期限は、次回講義の前日の午後3時まで
  - 火曜の課題は木曜、金曜の課題は次の月曜まで
  - それ以降もこの講義の最終レポートの締切日まで受け付ける

- 締切後の提出先



# 発表資料

- 各課題ごとに，事前に指名した1～2名にその回答をみんなに説明していただく．説明は次の回の最初に行う．
- その説明資料（スライド1枚程度）を前日の午後3時までにT2SCHOLAの説明資料専用のボックスに提出する．

